



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月31日

上場会社名 日本調剤株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3341 URL http://www.nicho.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三津原 博  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 鎌田 良樹 TEL 03-6810-0800  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 平成24年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切り捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	67,115	7.4	784	△73.9	544	△79.8	180	△84.6
24年3月期第2四半期	62,507	16.7	3,004	55.8	2,701	57.7	1,171	94.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 203百万円 (△83.5%) 24年3月期第2四半期 1,232百万円 (97.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	25.02	—
24年3月期第2四半期	163.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	93,794	14,714	15.7	2,042.58
24年3月期	86,615	14,716	17.0	2,047.95

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 14,714百万円 24年3月期 14,716百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
25年3月期	—	35.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成25年3月期の期末配当予想額は未定です。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	143,209	10.1	3,134	△42.6	2,563	△48.1	1,197	△42.6	166.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	8,012,000株	24年3月期	8,012,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	808,204株	24年3月期	826,234株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	7,193,308株	24年3月期2Q	7,159,005株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想等とは大きく異なる結果となる場合があります。

(2) 四半期決算補足説明資料の入手方法

当社は、平成24年11月7日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料についてはT D n e tにて開示し、当社ホームページへも掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月～9月）における我が国の経済は、海外経済の減速を背景に、輸出・生産が弱含みで推移しました。今後は近隣諸国との摩擦などにより後退感が強くなるものと思われまます。医薬品・調剤薬局業界におきましては、本年4月に薬価改定、調剤報酬改定が実施されました。薬価ベースでは△6.0%の引き下げとなり、調剤報酬については在宅薬剤関連業務とジェネリック医薬品の使用促進に対する重点配分が主な内容となりました。また診療報酬改定においても、医師が処方せんを発行する際に医薬品について薬価基準に記載されている品名ではなく一般的名称を記載する「一般名処方」の推進など、新たな施策が盛り込まれました。

しかしながら、これらの制度改定による市場の変化はジェネリック医薬品使用の急激な増加、小規模薬局の経営環境悪化などを想定した当社の期待を下回るものになっております。

このような状況の下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高67,115百万円（前年同期比7.4%増）と増収となりました。利益面においては、営業利益784百万円（同73.9%減）、経常利益544百万円（同79.8%減）、四半期純利益180百万円（同84.6%減）となりました。

事業の種類別業績概要は以下のとおりであります。

#### ①調剤薬局事業

日本調剤株式会社及び子会社3社による同事業では、面対応薬局を主として積極的に出店を行いました。第2四半期連結累計期間において、茨城県1店、栃木県2店、埼玉県5店、千葉県2店、東京都15店、神奈川県12店、石川県1店、岐阜県1店、愛知県1店、滋賀県1店、大阪府1店の計42店舗を新規出店いたしました。また東京都3店、大阪府1店及び島根県の1店を閉局いたしました。結果グループ総店舗数は日本調剤451店舗、子会社3店舗の454店舗となりました。同事業の業績動向としては、前年度閉局店舗の売上寄与により売上高63,127百万円（前年同期比6.1%増）と増収となりました。利益面においては制度改定直後の影響及び大量出店による経費増加、人員不足の影響により、営業利益2,713百万円（同42.3%減）に留まりました。

#### ②医薬品製造販売事業

ジェネリック医薬品の製造販売を行う日本ジェネリック株式会社による同事業では、医薬品卸各社との連携強化により当社グループ外の調剤薬局・医療機関向けの販売拡大施策を積極的に推進しております。当第2四半期連結累計期間におきましては、薬価改定による売上減少の一方、営業活動による拡販と、6月からのつくば第1工場での自社生産品を含めた新規収載品の発売を行っております。期初の計画を下回っておりますが営業利益段階より黒字化を定着させております。売上高は5,399百万円（前年同期比39.5%増）となりました。利益面においては営業利益111百万円（前年同期は282百万円の損失）となりました。

#### ③医療従事者派遣・紹介事業

子会社の株式会社メディカルリソースでは、薬剤師の派遣紹介を中心に医師・看護師を含めた医療従事者総合人材サービス事業を運営しております。本年3月には、薬学部6年制移行後初の卒業生が輩出されましたが、調剤薬局・ドラッグストアの新規出店、また薬剤師の業務内容増加などにより、転職市場での薬剤師不足感はさらに進んでおります。このような中、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,964百万円（前年同期比25.1%増）と増収となりました。利益面においては営業利益305百万円（同12.8%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は93,794百万円となり、前連結会計年度末に対して7,179百万円、8.3%増加いたしました。流動資産は41,633百万円となり、前連結会計年度末に対して5,089百万円、13.9%の増加となりました。主な要因としては、現金及び預金、商品及び製品の増加等であります。固定資産は52,160百万円となり、前連結会計年度末に対して2,089百万円、4.2%の増加となりました。主な要因は、建物及び構築物の増加等であります。

負債は79,079百万円となり前連結会計年度末に対して7,180百万円、10.0%の増加となりました。主な要因としては、借入金の増加等であります。

純資産は14,714百万円となり前連結会計年度末に対して1百万円、0.0%の減少となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが△228百万円、投資活動によるキャッシュ・フローが△4,224百万円、財務活動によるキャッシュ・フローが6,290百万円となりました。この結果現金及び現金同等物の四半期末残高は前連結会計年度末に対して1,837百万円増加して、

14,391百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローでは、主な収入項目は仕入債務の増加額1,812百万円、減価償却費1,693百万円であり、主な支出項目はたな卸資産の増加額3,457百万円、法人税等の支払額1,651百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、主な支出項目は調剤薬局事業の新規出店展開への投資による有形固定資産の取得による支出3,703百万円、敷金及び保証金の差入による支出304百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、主な収入項目は長期借入れによる収入8,200百万円であります。一方主な支出項目は長期借入金の返済による支出1,626百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社では、第2四半期連結累計期間の業績を勘案の上、平成24年5月1日に公表しました通期の連結業績予想を修正いたしております。詳細につきましては、平成24年10月26日付で公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正並びに業績改善に向けた取り組みに関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、経済的耐用年数を適用している一部の資産を除き、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ35百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,622	14,459
売掛金	12,868	12,628
商品及び製品	8,419	11,912
仕掛品	161	143
原材料及び貯蔵品	299	281
その他	2,183	2,217
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	36,543	41,633
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,062	13,072
土地	12,135	12,884
建設仮勘定	1,486	1,260
その他（純額）	5,110	5,589
有形固定資産合計	30,796	32,807
無形固定資産		
のれん	8,205	7,962
その他	1,639	1,690
無形固定資産合計	9,845	9,653
投資その他の資産		
投資有価証券	894	930
敷金及び保証金	6,579	6,671
その他	1,955	2,097
投資その他の資産合計	9,429	9,700
固定資産合計	50,071	52,160
資産合計	86,615	93,794

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	21,884	23,696
短期借入金	3,420	3,350
1年内返済予定の長期借入金	4,953	12,382
未払法人税等	1,735	444
賞与引当金	1,425	1,549
売上割戻引当金	154	173
その他	3,184	3,050
流動負債合計	36,757	44,647
固定負債		
社債	14,000	14,000
長期借入金	19,610	18,755
退職給付引当金	115	199
役員退職慰労引当金	611	640
その他	802	837
固定負債合計	35,141	34,432
負債合計	71,899	79,079
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,953	3,953
資本剰余金	4,754	4,754
利益剰余金	8,233	8,162
自己株式	△2,378	△2,332
株主資本合計	14,562	14,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153	177
その他の包括利益累計額合計	153	177
純資産合計	14,716	14,714
負債純資産合計	86,615	93,794

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	62,507	67,115
売上原価	51,616	57,222
売上総利益	10,891	9,893
販売費及び一般管理費	7,886	9,108
営業利益	3,004	784
営業外収益		
受取賃貸料	46	37
その他	71	124
営業外収益合計	118	162
営業外費用		
支払利息	288	284
支払手数料	70	15
その他	62	102
営業外費用合計	421	402
経常利益	2,701	544
特別利益		
固定資産売却益	—	4
特別利益合計	—	4
特別損失		
固定資産売却損	—	0
減損損失	—	49
退職給付制度終了損	82	—
特別損失合計	82	49
税金等調整前四半期純利益	2,619	499
法人税、住民税及び事業税	1,510	365
法人税等調整額	△63	△45
法人税等合計	1,447	319
少数株主損益調整前四半期純利益	1,171	180
四半期純利益	1,171	180



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,171	180
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60	23
その他の包括利益合計	60	23
四半期包括利益	1,232	203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,232	203

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,619	499
減価償却費	1,284	1,693
減損損失	—	49
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	135	124
売上割戻引当金の増減額 (△は減少)	△326	19
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△105	△135
退職給付引当金及び前払年金費用の増減額	18	83
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	41	28
受取利息及び受取配当金	△7	△10
支払利息	288	284
固定資産売却損益 (△は益)	—	△4
退職給付制度終了損	82	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,186	240
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,057	△3,457
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,670	1,812
その他	666	464
小計	5,123	1,692
利息及び配当金の受取額	7	10
利息の支払額	△252	△279
法人税等の支払額	△1,244	△1,651
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,634	△228
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,811	△3,703
有形固定資産の売却による収入	—	5
無形固定資産の取得による支出	△179	△178
長期前払費用の取得による支出	△76	△63
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△206	—
貸付けによる支出	△98	△101
貸付金の回収による収入	57	55
敷金及び保証金の差入による支出	△745	△304
敷金及び保証金の回収による収入	57	70
その他	△28	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,031	△4,224

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1	△70
長期借入れによる収入	1,600	8,200
長期借入金の返済による支出	△6,090	△1,626
社債の発行による収入	14,000	—
自己株式の売却による収入	44	49
配当金の支払額	△214	△251
その他	△10	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,327	6,290
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,930	1,837
現金及び現金同等物の期首残高	7,200	12,554
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,131	14,391

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結損 益計算書計上 額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	59,519	1,706	1,281	62,507	—	62,507
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,164	288	2,453	△2,453	—
計	59,519	3,871	1,570	64,961	△2,453	62,507
セグメント利益又は損失 (△)	4,699	△282	271	4,688	△1,683	3,004

(注) セグメント売上高合計およびセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高および営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△1,683百万円にはセグメント間取引消去65百万円および全社費用△1,749百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
記載すべき重要な事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結損 益計算書計上 額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	63,127	2,497	1,490	67,115	—	67,115
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,902	474	3,376	△3,376	—
計	63,127	5,399	1,964	70,491	△3,376	67,115
セグメント利益又は損失 (△)	2,713	111	305	3,130	△2,345	784

(注) セグメント売上高合計およびセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高および営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△2,345百万円にはセグメント間取引消去△57百万円および全社費用△2,288百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、店舗資産（6店舗）の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、49百万円であります。